

東日本復興支援!

グローバル・経営者フォーラム in 九州



2012 新春

今年、一年の
方向が**決まる** 3日間**!!**

<http://kyushu-forum.com/>

平成 24 年 1 月 18～20 日
於：ヒルトン福岡シーホークホテル

1日目 法務 (経営を守る)



基調講演 I

弁護士: 鳥飼 重和 氏

『恐慌が来ても成長できる企業を目指して』

～何が起こるか分からない時代の今こそ、大いなるチャンス^{チャンス}の到来～



『国税はあなたの会社をこう見ている!』

～経営者が知っておくべき
「税務調査の正しい対応方法」～

久保 憂希也 氏

『企業を護る残業手当対策と就業規則のつぼ』

～無策では生き残れない!
人災トラブル防止のために～



高澤 留美子 氏



『会社に本当に必要な節税をしていますか?』

～法律(税制)改正をまるっと先取りして
会社を強くする!～

藤永 哲嗣 氏

経営者の為の「ビジネスフェア」
～経営者が知るから経営に活かせる!～

2日目 国際 (グローバル時代の変化に対応する)



土肥 克彦 氏

『世界が注目するインド』

～インドを自社の成長に取り込む!～



一條 好男 氏

『海外預金口座を活用した資産保全』

～ガラパゴス化“日本”の発想を変える!～



呉 善花 氏

『日本を「悪魔の国」と教えられて』
～世界からみた日本の可能性～



三浦 忠 氏

『世界の和僑ネットワーク活用術』
～和僑ネットワークで海外に活路見出す成功術～



草野 豊己 氏

基調講演Ⅱ

『今、世界で起こっている真実』
～大緊縮時代の不確実性と
日本再生への提言～



竹内 日祥 師

緊急提言！ 特別講演

『企業の飛躍と成長を実現する抜本革新』
～効率・能率性追求から、
価値創造経営への戦略的大転換～

懇親パーティーと交流会

3 日目 実践・実務 (経営の具体的対応を学ぶ)



基調講演Ⅲ 山下 泰裕 氏

『柔の道と経営の道を通じて、
今、私達に出来ること』

個別無料相談会～実践支援～

講師陣及びビジネスフェア出展社との個別相談会



鶴田 慎一 氏

『人が育つ「社風」を創れ！』
～社風こそ最高の
教育システム！～



木村 勝男 氏

『起業の成功法則』
～実体験から学んだ、
BS 経営のススメ～



坂本 明彦 氏

『銀行との新しい関係性』
～金融機関を取り巻く環境と、
銀行員の本音～



石原 明 氏

『売れる仕組みが
会社を強くする！』
～最強 4 ステップ マーケティング～

はじめに

～東日本大震災から日本の原点に戻る～

この度の東日本大震災において、被災者同士が相互に助け合う様子や、復興に取り組むボランティア活動の様子が世界中に報道されました。その姿や姿勢に世界中から多くの反響が寄せられていた事を、マスメディアを通じて私たち日本人も知りました。今こそ、私達一人ひとりが、その事実をしっかりと受け止め、日本人としての誇り、経営者としての誇りを取り戻す時だと考えます。

その具体的な第一歩として、私達が深く関わっている“経営”を“日本的な新しい経営”に変革することから始めます。グローバル化の現実を直視し、全体着眼に立ち、**未来の為の行動に出る**。その為にマイナスを価値に転換して会社を守る。守るのは経営者自身であり、そこで働く社員の皆様です。会社を正しく守る事が、社員を守り、その家族を守り、国家を守る事に繋がります。

日本をひとつにする為に、九州がまずひとつになります。九州の公益法人と経営者の活動を単独・単体で終わらせず、自我を捨て、立場を越えて中小企業経営者を守る為に大同団結いたします。その九州の経営者を守り支援するのが“グローバル・経営者フォーラム in 九州”です。

一年の始めに「**世界**」と「**日本**」を学び、新しい「**変化の時代の経営**」を学び、自社の問題を特定し、解決の糸口を見つける場を創造しました。

お一人おひとりの参加が、そしてその学ぶ姿勢が、これからの日本と社会を元気にします。お一人でも多くのご参加を、心より伏してお願い申し上げます。

—九州経営フォーラム実行委員会—

主催					
九州経営フォーラム実行委員会					
後援・協賛					
社団法人小倉法人会	社団法人門司法人会	社団法人八幡法人会	社団法人若松法人会		
社法人行橋法人会	社団法人田川法人会	公益社団法人福岡中部法人会			
一般社団法人公益法人支援協会	一般社団法人中小企業経営支援専門家協会	全国会計人共同体			
支援団体・支援企業					
○の会	草野グローバルフロンティア	鳥飼総合法律事務所	InspireConsulting	保険情報サービス	楠の木会
ビジネススキル研究所	BS経営研究所	高収益トップ3%倶楽部	JCC	東京和僑会	坂本総合研究所
NTTドコモ					

随時、ホームページにて更新致します。

タイムスケジュール

19日(木)

20日(金)

18日(水)

時間	分科会
9:00～10:10	④海外預金口座を活用した資産保全 【アルゴスC】 ⑤世界が注目するインド 【ハスB】 ⑥日本を悪魔の国と教えられて 【アルゴスD】 ⑦世界の和僑ネットワーク活用術 【ハスC】
10:10～10:30	休憩
10:30～11:50	基調講演Ⅱ【アルゴスAB】 今、世界で起こっている真実
11:50～12:50	休憩(受付にシホークリゾート内レストランのご案内を掲示しております)
12:50～14:30	特別講演【アルゴスABC】 前講「企業の飛躍と成長を 実現する抜本革新」
14:30～14:50	休憩
14:50～16:20	後講 「企業の飛躍と成長を 実現する抜本革新」
17:00～19:00	懇親会パーティーと交流会 【ティンガティンガ(5F)】

12:00～13:00	受付【アルゴスABC】
13:00～13:10	ご挨拶・インフォメーション
13:10～14:40	基調講演Ⅰ【アルゴスABC】 恐慌が来ても 成長できる企業を目指して
14:40～17:30	ビジネスフェア【ハスAB】 ご自由にご覧下さい
15:40～17:00	分科会 ①国税はあなたの会社を こう見ている 【アルゴスD】 ②企業を護る残業手当対策 と就業規則のつぼ 【アルゴスE】 ③会社に本当に必要な 節税をしていますか? 【アルゴスF】
	ビジネスフェア

時間	分科会
9:00～9:50	⑧銀行との新しい関係性 【ハスC】
9:00～10:10	⑨売れる仕組みが会社を強くする 【ハスB】
10:10～11:40	⑩起業の成功法則 B/S 経営のススメ 【ハスC】
10:30～11:40	⑪人が育つ社風を創れ 【ハスB】
11:40～12:00	休憩
12:00～13:00	基調講演Ⅲ【アルゴスAB】 柔の道と経営の道を通じて 今私に出来ること ご挨拶
13:00～16:00	個別無料相談会 【アルゴスAB】

会場見取り図を最終ページに
掲載致しております

— 経営を守る 法律を味方にする —

1日目 (18日)

「法律」の根本が変わっている…

「法律」を味方にするのか？

それとも

知らずに最大の敵となるのか？

基調講演 I

『恐慌が来ても成長できる 企業を目指して』

～何が起こるか分からない時代の今こそ、
大いなる**チャンス**の到来～



鳥飼 重和 氏

鳥飼総合法律事務所代表弁護士
日本税理士会連合会顧問
日本内部統制研究学会会長

- ・部分的な法律の専門家の問題
- ・法律は関係性と全体着眼で捉える
- ・訴状はストーリー(物語)で勝つ
- ・最高裁の判断の変化
- ・法律に経営を合わせるのではなく、
経営に法律を合わせる。
- ・恐慌でも成長する企業がある
- ・ドラッカーが教える経営の本質とは？
- ・儲けの本当の源泉を知っていますか？
- ・イノベーションとは、技術の革新のことではない
- ・ビジネスモデルを変えると大きく変わる
- ・日本企業の活断層は「**法律の無知**」
- ・全てが変化している、法律の変化を知る

法務分科会

分科会1 15:40~17:00

『国税はあなたの会社をこう見ている!』

～経営者が知っておくべき『**税務調査**の正しい対応方法』～

- ・税理士の対応は同じではない!
- ・正しい対応で税額が何千万円も違う
- ・納得できない税務調査から会社を守る
- ・専門家は選ぶ、活用する、依存しない。
- ・元国税調査官が明かす、経営者が知っておくべき税務調査の正しい方法の全て!
- ・トラブルは起こってからでは遅い。
- ・実例を踏まえた税務調査対策の集大成。



株式会社 InspireConsulting 代表取締役社長 久保 憂希也 氏

1977年 和歌山県和歌山市生まれ

1992年 智弁学園和歌山高校入学

1995年 慶應義塾大学経済学部入学

2001年 国税庁入庁 東京国税局配属

医療業・士業・飲食店・不動産関連・芸能人・風俗等の税務調査を担当
その他外国人課税事務、確定申告関連事務を担当。

2008年 ㈱InspireConsulting を設立。

税務調査のコンサルタントとして活動。人気のセミナー講師として年間50回以上、セミナー・講演の壇上に立つ。現在は全国で200人以上の税理士が学ぶ「税務調査研究会」を主催し、「税務調査の正しい対応方法」を教えている。

著書には、『元国税が教える 会社を救う!5つの社長力』『日本一やさしくて使える会計の本』『数字力の教科書』『日本一やさしくて使える税金の本』『数字力のルール』『数字で考える コツをつかめば、仕事の9割はうまくいく』がある。

法務分科会

分科会2 15:40~17:00

『企業を護る残業手当対策と就業規則のつぼ』

～無策では生き残れない！人災トラブル防止のために～



保険情報サービス㈱
社会保険労務士
常務取締役
高澤 留美子 氏

公的保険と民間保険の一元化をめざす保険情報サービス㈱の取締役を兼務しつつ、企業の労務相談・規程作成・助成金申請のほか、年金相談やセミナー講師を務める

1. 給与に残業代は込み。そう思っているのは社長だけ。
 - ・ピンチになる前に。残業代の金額はどのように計算される？
 - ・残業代問題を解消する対策と賃金規程
 - ・固定残業代を有効にするには
 - ・管理職や年俸制社員における残業代の対応は？
2. 縁の切れ目（退職）がバトルのスタート！解決の手順は？
 - ・残業代2年分の請求がきたなら
 - ・監督署から呼び出しがかかったら
 - ・労働局のあっせんがはいたら
 - ・労働組合から団体交渉の申し入れがきたら
 - ・労働審判になったなら
3. 労災と高額損害賠償請求！
 - ・疾病労災の認定基準
 - ・会社の安全配慮義務違反とは
 - ・事前の予防と発生後の対応
4. 就業規則でデフェンスカアップ！！
 - ・これだけは押さえたい。就業規則のつぼ
 - ・労基法で決めていないことに企業を護るポイント有り
 - ・不良社員を解雇できないのはなぜ？
 - ・病気の社員、いつまで雇用？
 - ・従業員のマイカー通勤事故。会社に請求が…
 - ・退職金、ない袖はふれぬで済む？

分科会3 15:40~17:00

『会社にながに必要な節税をしていますか？』

法律(税制)改正をまるっと先取りして会社を強くする！

抜本的大増税の時代到来？政権・政策に左右されない企業経営を実現するために、時代の潮流に合わせた「いま社長の会社に必要な税務戦略」を、平成24年税制改正の内容をしっかりと盛り込んで経営者の視点から見たポイントでわかりやすく解説します。



税理士法人統合経営システムパートナー
社員税理士 藤永哲嗣 氏
全国十数か所で会計事務所の支援と公益法人支援を行っている。業界誌「税理士新聞」への連載も手掛ける。

- 節税の3つのレベルと、2つの種類を活用する
- 退職金よりも効率的な個人への資産移転手法
- 強固な会社こそ事業承継が難しい「究極の自社株対策」方法公開
- 円高・高い直接税率、そして消費税増税！？この時代に生き残るためには
- 最新24年税制改正と、過去10年分税制改正の活用方法をまるっと紹介
- 24年4月前後の損得の勘所を知って経営戦略を税制面からチェックしましょう。
- 申告税務ではなく「経営税務」の事例紹介

総務に任せてはいけない！

経営者が知るから経営に活かせる！

内容は・・・(HPにて随時更新中！)

企業の、効率・効果はもちろん、

仕事の根本を変える最先端の道具を知る！！ 活用する！！

200万円の投資で、年間500万円もの経費削減が！！

不動産売却をお考えの方・・・待った！！！！

従前では考えられない不動産売買のパラダイム転換

Ex: 2億円とした上限価格が・・・ 3億円以上の高値で売却！？

このカラクリは？

社会保険料は企業の中の大きな費用！

知らない為に無駄をしていませんか？

…等々

出展企業及び団体について、ホームページにて随時更新し紹介しております。
是非ご参照下さい！

<http://kyushu-forum.com/>

2日目 (19日)

「グローバルの時代」を認め

そして

「変化」に合わせる

そのために

絶対に欠かす事のできない

「イノベーション」を学ぶ

国際

グローバル時代の変化に対応する

分科会4

9:00~10:10

『海外預金口座を活用した資産保全』

～ガラパゴス化日本の発想を変える～



株式会社ユニオン・ゲイナー・ジャパン
代表取締役 一條 好男 氏

会計事務所・コンサル会社を経てFP、事業承継、相続対策等の仕事に従事。2006年9月『物心共に豊かな人生を歩む』をテーマに(株)ユニオン・ゲイナー・ジャパンを設立。顧客の「物心ともに豊かな人生を歩む」お手伝いをすることを使命とする『〇の会』(まるのかい)の主宰。口コミだけで会員数1,000名以上と日本でもトップクラスの規模で展開。中小企業経営者やドクターや税理士等に投資助言を行い、その実績にも注目が集まっている

- ・日本の財政状況を正しく理解する
- ・各国の事例に学ぶ、財政破綻によって何が起こるか？
- ・ハイパーインフレとは？
- ・これからの日本の企業が求められる資産保全対策
- ・日本の金融と海外の金融の違いを知る
- ・オフショア地域とはなにか？
- ・オフショア地域を活用した資産保全について
- ・個人と法人の資産を保全する具体的事例
- ・物質的な豊かさとの豊かさ
- ・主に経営者が所属する『〇(まる)の会』とは？

分科会5

9:00~10:10

『世界が注目するインド！』

～インドを自社の成長に取り込む！～



有限会社アイジェイシー
代表取締役 土肥 克彦 氏

福岡県出身。九州大学工学部卒業後、川崎製鉄入社。
東京本社勤務時代に、インド・ダスルーツ社と協業。オフショア・ソフト開発に携わる。2004年に有限会社アイジェイシー設立。インド関連ビジネス・サポートや、コンサルティングを行っている。

● 世界経済の変革期

- ◆ 人口減少、成熟した日本市場
→ 新規顧客の開拓が難しい
- ◆ これからの成長戦略をどう描くか？

● 需要のあるところで売る インドを自社の成長に取り込む

- ◆ 中国一極集中でいいですか？
- ◆ 巨大で、若年層の比率が高い人口大国＝インド
- ◆ 国民所得が伸びるインド、親日のインド
- ◆ インドから、その先の世界へ！

● インド・ビジネス参入のススメ！

- ◆ インドを取り込む、インド進出
- ◆ 日印EPA締結
- ◆ インドで①売る、②調達する、③生産する



分科会6 9:00~10:10

『日本を「悪魔の国」と教えられて…』

～世界からみた日本の可能性～



吳善花(オ・ソンファ)氏

評論家・拓殖大学国際学部教授
1956年、韓国、済州島生まれ。
4年間志願で女子軍隊生活をする。
1983年来日、大東文化大学(英語学)留学生となる。その後、東京外国語大学大学院修士課程(アメリカ地域研究)修了。現在、執筆のかたわら、拓殖大学国際学部教授。

多くの人たちが親しく、やさしく接してくれるものの、こちらから深く入ろうとすると、みんながみんな、なぜかスッと心を閉ざしてしまう。いまから思えば、韓国人のようにベタベタとした関係を好まず、相手との適度な距離をとろうとする日本人特有の態度なのである— (本文より)

留学生として来日した著者は、時を経るにしたがって、日本人と韓国人、日本と韓国の違いを様々な場面で感じ、認識していく。しかし、「悪魔の国」と教えられてきた日本は、じつは、素晴らしい国だった。日本人にも、韓国人にもなりきれない著者の苦悩。その深い隔たりに悩み続け、精一杯ぶつかりながらも、最終的に日本定住を決意する。

著書に『攘夷の韓国 開国の日本』(文藝春秋、第5回山本七平賞受賞)、『スカートの風(正・統・新)』(三交社、角川文庫)、『韓国併合への道』(文春新書)、『恋のすれちがい』(角川書店)、『日本が嫌いな日本人へ』『日本人を冒険する』『日本精神の可能性』(PHP文庫)『私はいかにして日本信徒となったか』(PHP研究所)『女帝論』(PHP研究所)『日本浪漫紀行』(PHP研究所)『反日・親北韓国の暴走』(小学館)など多数がある。

分科会7 9:00~10:10

『世界の和僑ネットワーク活用術』

～和僑ネットワークで海外に活路を見出す成功術～



三浦 忠 氏



東京和僑会 会長
和僑総会 副会長
ジェイマーズ株式会社 代表
株式会社プロシード・ラボ 代表

- ・和僑会とは
- ・東京和僑会が担う重要な役割
- ・海外を内需として捉えるとは
- ・海外(アジア)企業と日本企業の経営の違い
- ・華僑ビジネスに学ぶポイント
- ・海外企業との関係構築
- ・海外進出・販路拡大のための3ステップ
- ・和僑会が日本の経営者にできる事
- ・グローバル時代の今、日本人の団結!

基調講演Ⅱ



リスクマネーの
威力

草野 豊己 氏

草野グローバルフロンティア 代表

ロスチャイルドやソロス・ファンドなどの日本人初の投資アドバイザーとしても知られ、30年以上もの現場でのビジネスにより蓄積されたネットワークを活かして、リスクマネーの動向を分析するオーソリティ・国際金融コンサルタントとして活躍。

『今、世界で起こっている**真実**』

～大緊縮時代の不確実性と日本再生への提言～

○危機の本質を見抜かない限り金融市場では勝てない!

- ・残されたリスクに新たに生まれたリスクが重なる
- ・世界は未曾有のデレバレッジ(大収縮)時代に入る

○世界金融危機の本質はシャドバンキングだった

- ・シャドバンキングに翻弄される日本
- ・リスクマネーとエキゾチック金融を理解する

○求められる“ブラック・スワン・ヘッジ戦略”

- ・世界を理解して企業は秩序なき破壊にいかにかに備えるか?
- ・日本人がいる限り、日本は再生できる

緊急 提言

変化に対応するための思考力を深める具体論

特別講演

前講 12:50~14:30

後講 14:50~16:20

創造的破壊によるイノベーション

企業の飛躍と成長を実現する「抜本革新」

効率・能率性追求から価値創造経営への戦略的大転換

世界同時不況、先進国デフォルトの危機など、第2次大戦以来、経験の無い程の世界的な激変が、多岐に亘る**重大な課題**を現代社会に提起するに至りました。過去の**経済常識**が一瞬のうちに崩れ去る出来事が、次々と**企業経営者**に襲いかかっています。企業は今や時代の大転換期の渦中に於いて、現代社会の要請、顧客のニーズに的確に答えて**新たな価値**を創造しなければ、企業の**存続**その事が**困難**となりかねません。

経営トップに突き付けられるこれらの深刻な課題を克服するために、企業そのものの本質的な**価値観の転換**が求められています。これまで**正しい**と信じられてきた価値観からの**脱却**を図り、新たな時代の要請に応える事の可能な**深い思考力**を、経営者ご自身が**体得**する必要性に迫られているのです。

これまでの**近代経営論**では、売上・利益・市場シェアなどの指標に基づき、**定量的な**効率性・能率性が重要視されてきました。しかし**激動**する現代の新たな要請は、企業が事業を通して、いかなる**価値(バリュー)**を社会に向けて**創造**すべきであるかという**存在意義**が、顧客から深刻に問われています。この新たな価値を創造する唯一の方法が、創造的破壊に基づく**抜本革新(イノベーション)**に他ならないのです。

抜本革新に於いては、過去からの**惰性**と、組織の本質的な**誤謬**に対する抜本的な変革が中核的課題となります。即ち、組織内に深く潜在している**マイナス要素**を明確に特定し、**プラスの価値**への転換を実現する一切の具体的行動計画と実施プログラムが、抜本革新に含まれているのです。またトップ以下の全社員が**自己革新**(自分自身の価値観の転換)を通して、自己の主体性確立による**顧客満足**と、自己実現による**社員満足**を同時に達成するプログラムでもあります。この抜本革新が、現代社会に於いて企業の進化を促す「**価値観による経営(バリューマネジメント)**」なのです。



竹内日祥 師

全日本経営人間学協会理事長
宗教法人妙見閣寺代表役員
公益法人ドイツ大聖恩寺理事長
統合学術国際研究所理事長

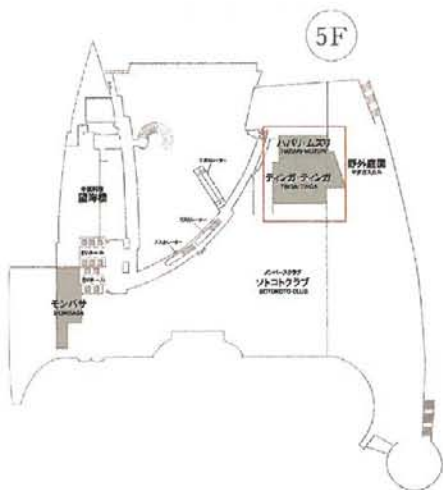
1947年生まれ。立正大学仏教学部卒業。企業経営者の指導及び管理職教育に意欲的に携わり、大小民間企業、公共団体を中心に各種セミナーで熱烈な支持と共感を集め、年間の講演回数は200回に及ぶ。師の講演は、現代の大変革時代に組織が生き残る為の価値観の転換(パラダイム・シフト)につき徹底的に解明する。そして今日、企業にとって最も問われている自社独自の戦略策定と、強力なリーダーシップの確立につき講義を進め、経営トップの指導と企業幹部の人材育成に強烈な影響を与えている。現在、シリーズ連続10回「経営人間学講座」を東京・大阪・福岡の3会場で開催。熱気あふれる会場は満席の盛況。なお、執筆・講演の収益金は、ドイツ大聖恩寺(国際交流センター)でのシンポジウム開催、日本での統合学術国際研究所の運営、並びに日・独「統合学」学会運営のための資金に充当されている。

当日、本講座を受講された方に限り後日CDを送付致します

出逢い

「懇親パーティーと交流会」

17:00~19:00



新たな**価値**は、

絆

新たな**出逢い**によって

創造される…



— 実践・実務 —

3日目 (20日)

経営の具体的対応を
「学び」・「尋ねる」

そして
日本人としての真の姿を取り戻す

実践・実務

経営の具体的対応を学ぶ

分科会8

9:00~9:50

『銀行との新しい関係性』

～金融機関を取り巻く環境と銀行員の本音～

- ・金融機関を取り巻く現状を知る！
- ・銀行員の本音とは？
- ・融資審査はどのように行われるのか？
- ・万が一の為のリスク活用法とは？
- ・金融機関の選び方とは？
- ・債務者区分と格付けはどのように行われるのか？
- ・銀行からの要求への対処法とは？
- ・パーゼル問題は他人事では無い！

etc.



株式会社坂本総合研究所
代表取締役 坂本 明彦 氏

39歳の若さで支店長格となり、九州銀行姪浜支店長・渡辺通支店長を経験。親和銀行統合後は、塩原支店長、審査部副部長に就任。福岡銀行統合後、融資部に所属され、その後独立。融資という生々しい現場での銀行という立場と、経験とを活かし、中小企業と銀行との関係性改善に活躍。

分科会10

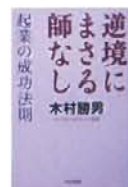
10:10~11:40

『起業の成功法則』 ～実体験から学んだBS経営のススメ～

- ・いくつもの逆境、苦境を乗り越えてきた波乱万丈の人生
- ・壮絶な経営者人生、あまりにも重い負債との戦い
- ・やっとつかんだ経営の王道



木村 勝男氏
UBI 株式会社 取締役会長
NPO 法人 BS 経営研究所 代表理事



戦後の貧しい生活の中、15歳で父が永眠。母と4人の弟妹を養うため起業。数々の事業に挑戦し、バブルの崩壊で230億円の負債を背負うも、15年の歳月をかけて債権者・整理回収機構からの再生を果たす。その後は自身の再生体験を活かすとともに、中小企業の活性化を目指して、土業と連携をした再生チームによるターンアラウンド（企業再生）事業を展開。さらに企業再生に関する投資事業を行うUBI株式会社の会長を務める。さらにBS経営の発想を元に「強くて良い会社」の指標を数字と質の両面から定義し、規模は小さくとも財務体質抜群の会社を創り上げている。その50年以上の苦難の経営者人生で培った経営ノウハウ・人生ノウハウをぜひとも社会のために役立ててゆきたいとの思いから、現在全国で講演活動を行っている。

分科会9 9:00~10:10

『売れる仕組みが会社を強くする！』

～営業活動ゼロで売上数億円を達成し続けるコンサルタントの最強4ステップマーケティング～

- ・良い商品、良いサービス、良い技術だから売れる!…の大勘違い! 提供するモノに自信があってもビジネスが成功しないその理由とは?!
- ・あなたの会社の“売れる仕組み”ビジネスモデルとマーケティングロジックをチェックしよう。
- ・営業活動とマーケティング活動の根本的な違いとは?
- ・今日の行動が、今日の利益と将来の利益を生むサイクルを作るのが最強4ステップマーケティングの真髄
- ・IT/Webは経営者が理解したら最強のマーケティング支援ツールになる、自分が出来なくても使い方を理解することが重要
- ・営業社員ゼロ、営業活動ゼロで毎年数億円のコンサル料を稼ぐ、マーケティングロジックを公開します。



日本経営教育研究所
代表 石原 明 氏

経営コンサルタント。ヤマハ発動機㈱、大手監査法人コンサルティング部門、外資系教育会社日本代理店を経て、H6年日本経営教育研究所設立、経営コンサルタントとして独立以来、講演活動、執筆、各社顧問及び幹部教育などで活躍中の新進気鋭のコンサルタント。勝てる仕組み作り、ビジネスモデルの提案、最速で企業を発展させる手法、新しい組織化理論などを通して、数少ない結果の出せるコンサルタントとして各業界で絶賛されている。

分科会11 10:30~11:40

『人が育つ「社風」を創れ!』

～社風こそ最高の教育システム～

- ・理念・方針で結束する全社一丸・一枚岩体制
- ・「形式的マネジメント」より「本質的マネジメント」
- ・社員の目標達成力を高めるためのポイント
- ・常に教育課題に「変化対応」と「進化創造」を織り込め



ビジネススキル研究所
代表 鶴田 慎一 氏

経営コンサルタント。日本経営士会 正会員。福岡生まれ。コンサルティング会社の教育研修事業部長兼任コンサルタントを経て現在に至る。気鋭の経営コンサルタントとして多くの企業の経営革新と、事業特性に応じた経営戦略・営業戦略策定に取り組み、大きな成果を上げている。



『20年以上に亘り「居眠り受講者ゼロ」記録更新中!』

基調講演Ⅲ

12:00~13:00

『柔の道と経営の道を通じて 今、私達に出来ること』



山下 泰裕氏

東海大学理事・副学長・体育学部長教授。認定NPO法人柔道教育ソリダリティー理事長。神奈川県体育協会会長。(財)全日本柔道連盟理事。1957年熊本県生まれ。全日本選手権9連覇。モスクワオリンピックではソビエトのアフガニスタン侵略に抗議する為、オリンピック大会不参加となり、唯一出場できたロサンゼルスオリンピックでは2回戦で軸足の右ふくらはぎに肉離れを起こす。しかし、冷静な攻めで見事な一本勝ちの金メダルを獲得。日本人のみならず、世界中に大きな勇気と感動を与えた！その他、数多くのタイトルを獲得。85年203連勝のうちに現役を引退。東海大学柔道部監督、アトランタおよびシドニーオリンピック日本代表監督などを経て、現職。柔道の国際化と普及のために活動を続ける。

山下理事長に、平成23年 **外務大臣表彰授与**が決まりました。

【外務大臣表彰とは】

外務省では、外務大臣表彰という制度を通じ、

「我が国と諸外国との友好、親善関係の増進に極めて大きな役割を果たしており、我が国ひいては世界の平和と安定に貢献し、その中で特に顕著な功績のあった個人又は団体に対し表彰を行い、その功績をたたえる」となっています。

今回の受賞は、私が理事長を務めますNPO法人柔道教育ソリダリティーの支援者皆様の功績によるものに他なりません。

厚く御礼申し上げますとともに今後も変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げます。
～HPより～

ご挨拶



九州経営フォーラム実行委員会
実行委員長 楠本 浩之

全国会計人共同体 事務局代表
一般財団B/S経営をすすめる会 代表理事
一般社団法人公益支援協会 顧問
JPBM 福岡支部副支部長
税理士法人統合経営システムパートナー 代表税理士
佛楠本統合戦略マネジメント 代表取締役社長

個別無料相談会

実践支援

13:00~16:00

「聞く」だけの研修会
ではありません。
実際に具体的な相談をし、
「行動」に出るための場を
用意いたしました。
行動を起こし、
会社を守りましょう！

お申込みは“メイン受付”横の『個別相談会申込ボード』へ、
ご希望時間枠にお名刺をお入れ下さい。

受付順となりますので、お早めをお願いします。

また、
ご希望に添えない場合がございますこと、
あらかじめご了承下さい。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

九州経営フォーラム実行委員会
<http://kyushu-forum.com/>
Tel : 092-714-2151 Fax : 092-716-8778
福岡市中央区天神 3-1-1 ｸﾞﾗｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸﾞ 8F